



各 位

会 社 名 株式会社 SOL Holdings

代表者名 代表取締役社長 宮嶋 淳

(JASDAQ・コード 6636)

問合せ先 取締役管理部長 中原 麗

電話 03-3449-3939

## 第三者割当による新株式及び第 3 回新株予約権の募集に係る 調達資金の使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 11 日付「第三者割当による新株式発行及び第 3 回新株予約権発行に関するお知らせ並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動の見込みに関するお知らせ」(以下「4 月 11 日付プレスリリース」といいます。)にて公表のとおり、新株式及び第 3 回新株予約権の募集による資金調達(以下「4 月資金調達」といいます。)を行いました。今般、4 月資金調達により調達した資金の使途につきまして下記のとおり変更が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 資金使途変更の理由

当社グループは、平成 25 年 3 月期より、スーパーソルガム(遺伝子組み換えではなく、ゲノム育種により、その収量や搾汁糖度を高めたソルガム(イネ科の植物)のこと。以下同じ。)を活用した新たな事業として、その搾汁液を活用したバイオエタノール、砂糖及び HFCS(果糖ぶどう糖液糖)事業、並びに、搾汁後の搾りかす(バガス)を活用したバイオマス発電、家畜用飼料(サイレージ)及びパーティクルボード(建築資材)事業(以下、「スーパーソルガム事業」という)を展開しております。

4 月 11 日付プレスリリースでお知らせいたしましたとおり、当社グループは、スーパーソルガム事業に関連して、スーパーソルガムの種子の販売業務及びスーパーソルガムの濃縮糖液の製造・販売事業(以下「本件事業」といいます。)が当社グループの収益基盤の強化に寄与するものと考え、4 月資金調達により調達した資金を日本の食品メーカーのインドネシア現地子会社向け濃縮糖液事業の展開のために使用することとしておりました。

当社の平成 26 年 3 月末の現預金残高は 146 百万円であり、収入としては平成 26 年 4 月末に手形決済による収入 100 百万円(総額 300 百万円のうち、200 百万円は株式会社リアルビジョンへの返済原資のため)、平成 26 年 5 月末までにベトナムにおけるスーパーソルガム種子の販売代金の収入 139 百万円、平成 26 年 7 月末に関係会社(株式会社シスウェーブ)への貸付金の返済額 135 百万円を予定(合計 521 百万円:平成 26 年 3 月末残高 146 百万円、収入 375 百万円)していたため、当該収入による補填を前提として、ライツ調達資金の未支出残高 170 百万円のうち、142 百万円について、79 百万円を 4 月末までの SOL の運転資金として転用し、63 百万円を 4 月までの株式会社スーパーソルガムの運転資金として同社に貸し付けました。しかしながら、①手形の不渡りにより当初予定していた収入(100 百万円)が得られなくなったこと、②ベトナムにおけるスーパーソルガムの販売代金についても種子の輸入許可の取得に時間を要し平成 26 年 5 月においても種子の輸入許可が取得できず、スーパーソルガムの最適播種時期までに納品ができなかったことから、売上による収入(139 百万円)が得られなかったこと、③予定していた関係会社への貸付金の返済額が当該関係会社の主要顧客の売掛入金サイトの変更等により当初より減額(当初予定 135 百万円に対し 40 百万円の返済、95 百万円の減額)となったこと、④スーパーソル

ガム事業においてスーパーソルガムの試験栽培及び事業検討を希望する企業の増加に伴い、渡航費用や宣伝広告費、海外における法律顧問等の費用が増大し、予定していた SOL 運転資金（当初計画：201 百万円 実績：262 百万円 61 百万円の増加）及び株式会社スーパーソルガムの運転資金（当初計画：178 百万円 実績：218 百万円 40 百万円の増加）として同社に貸し付ける金額が増加したこと等から、ライセンス・オフリングによる調達資金の転用分に充当する予定であった収入（142 百万円相当）が得られないだけでなく、平成 26 年 5 月～平成 26 年 8 月における SOL の運転資金（143 百万円）及び株式会社スーパーソルガムの運転資金（155 百万円）並びに株式会社リアルビジョンからの借入金の返済原資（60 百万円）の合計 358 百万円について不足することが明らかとなりました。

当該不足分については、約束手形の不渡りにより譲渡担保権を実行し取得したリアルビジョン株式（1,130,000 株）の売却を早期に行うこと等他の資金調達方法を検討しましたが、結果的には実際に調達はかなわず、不本意ながら 4 月資金調達にて調達した資金の一部から充当（358 百万円）せざるを得ない状況が発生いたしました。

当初予定していた資金の使途である日本国内食品メーカーの現地法人向け糖液事業の必要資金については、オーストラリアの企業である A1 Investments & Resources Ltd への貸付金の返済額（約 20 百万円）の一部（13 百万円）、事務所移転による敷金の返戻額（35 百万円）、当社グループの売上金等（110 百万円）及び株式会社アンビシャスに対する未収金（100 百万円）を、①濃縮糖液製造用のスーパーソルガムに係る栽培費用の一部（支出額 210 百万円 支出予定時期 平成 26 年 10 月～平成 27 年 1 月まで）及び②濃縮糖液の製造費用（製造工場の使用料を含む）の一部（支出予定額 48 百万円 支出予定時期 平成 27 年 1 月）に充当（※）することを計画しており、当該資金使途の変更による糖液販売事業に対する影響はないものと判断しておりますが、これらの資金が計画通りに取得できないもしくは取得時期が遅延するなどした場合には、当該糖液販売事業の売上計上時期が遅延する可能性があります。

また、日本国内食品メーカーの現地法人と締結した「糖液の評価に関する秘密保持契約書」につきましては、平成 26 年 8 月 31 日で評価期間は終了し、当該契約は失効していますが、現在再契約に向け交渉中です。また、同法人から評価作業は現在も続いていると聞いており、今後、評価が完了次第、当社は売買契約締結に向けて価格及び数量の協議をおこなう予定です。

なお、4 月 11 日プレスリリース「3 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」にて記載のとおり、4 月資金調達にて調達した資金を実際に支出するまでは、当社の銀行口座において管理することとしており、糖液販売事業に対する影響がなく一時的であっても、当該調達資金が外部に流出していることから、4 月資金調達によって調達した資金の使途変更を行うことといたしました。

当該資金使途の変更による当期業績への影響はないものと予想しております。来期以降の業績への影響及び中期経営計画への影響については現在精査中であり、判明次第お知らせいたします。

（※）変更前の具体的な資金使途における「①濃縮糖液製造用のスーパーソルガムに係る栽培費用の一部」の支出予定額は 263 百万円（支出予定時期 平成 26 年 7 月～平成 27 年 1 月）、「②濃縮糖液の製造費用（製造工場の使用料を含む）の一部」の支出予定額は 98 百万円（支出予定時期 平成 26 年 12 月～1 月）でしたが、濃縮糖液製造用のスーパーソルガムに係る圃場の確保について、複数の圃場候補地の中から、気候、土壌、賃料、地理等を総合的に勘案し選択したことにより一部遅れが生じたため、スーパーソルガムの栽培及び濃縮糖液の製造についても、その開始時期が遅れるものと見込んでおります。しかしながらスーパーソルガムの栽培や収穫作業の効率化等により、売上の計上開始時期は平成 26 年 12 月から平成 27 年 1 月と 1 か月の遅延に留めることが可能であると考えております。そのため平成 27 年 1 月の売上収入までに必要な費用を、「①濃縮糖液製造用のスーパーソルガムに係る栽培費用の一部（支出額 210 百万円 支出予定時期 平成 26 年 10 月～平成 27 年 1 月まで）」、「②濃縮糖液の製造費用（製造工場の使用料を含む）の一部（支出予定額 48 百万円 支出予定時期 平成 27 年 1 月）」に変更いたしました。

## 2. 資金使途変更の内容

変更箇所は、下線を付しております。

(変更前)

具体的な使途	金額	支出予定時期
濃縮糖液製造用のスーパーソルガムに係る圃場の賃借料	<u>145 百万円 (うち 69.5 百万円は本新株式の発行により調達する資金、3 百万円は本新株予約権の発行により調達する資金、72.5 百万円は本新株予約権の行使により調達する資金)</u>	<u>平成 26 年 5 月及び平成 26 年 11 月に 72.5 百万円ずつ</u>
<u>濃縮糖液製造用のスーパーソルガムに係る栽培費用の一部 (残額については平成 26 年 12 月より開始する濃縮糖液の売上金より都度充当)</u>	<u>263 百万円 (うち 150.5 百万円は本新株式の発行により調達する資金、112.5 百万円は本新株予約権の行使により調達する資金)</u>	<u>平成 26 年 7 月～平成 27 年 1 月</u>
<u>濃縮糖液の製造費用 (製造工場の使用料を含む) の一部 (残額については平成 26 年 12 月より開始する濃縮糖液の売上金より都度充当)</u>	<u>98 百万円 (本新株予約権の行使により調達)</u>	<u>平成 26 年 12 月～平成 27 年 1 月</u>
合計	506 百万円	—

(変更後)

具体的な使途	金額	支出予定時期
濃縮糖液製造用のスーパーソルガムに係る圃場の賃借料	<u>148 百万円 (新株予約権の行使により調達した資金)</u>	<u>平成 26 年 9 月</u>
<u>スーパーソルガム事業に係る運転資金</u>	<u>155 百万円 (うち 85 百万円は本新株式の発行により調達した資金、70 百万円は本新株予約権の行使により調達した資金)</u>	<u>平成 26 年 5 月～平成 26 年 8 月</u>
<u>株式会社リアルビジョンへの借入金返済資金</u>	<u>60 百万円 (うち 40 百万円は本新株式の発行により調達した資金、20 百万円は本新株予約権の行使により調達した資金)</u>	<u>平成 26 年 5 月～平成 26 年 9 月</u>
<u>当社グループの運転資金</u>	<u>143 百万円 (うち 95 百万円は本新株式の発行により調達した資金、3 百万円は新</u>	<u>平成 26 年 5 月～平成 26 年 8 月頃</u>

	<u>株予約権の発行により調達する資金、45百万円は本新株予約権の行使により調達した資金)</u>	
合計	506百万円	—

以上